

資料1 令和6年度 学校教育活動に関するアンケート結果分析（生徒・保護者）

Classiによる回答（令和7年1月実施）		生徒			保護者		
「十分達成できている」＋「おおむね達成できている」の割合[%]		R 6	R 5	R 4	R 6	R 5	R 4
1	服装容儀の規則は常にきちんと守っている。	99.0	97.7	96.8	98.4	96.3	96.8
2	時と場をわきまえた礼儀・挨拶を行っている。	98.8	98.9	98.5	97.3	96.6	96.1
3	生徒:授業時には常に1分前に着席している。 保護者:授業や部活動、行事等に前向きに取り組んでいる。	80.3	76.2	72.7	93.3	95.1	95.1
4	生徒:決められた教科書類は持ち帰り、自分の机、ロッカー等は整理している。 保護者:教科書等を持ち帰り、部屋の机等を整理する習慣が身に付いている。	73.8	64.3	62.0	45.3	44.9	47.9
5	生徒:朝読書時には、必ず読書に取り組んでいる。 保護者:家庭で静かに読書する習慣が身に付いている。	83.6	77.0	78.5	31.3	25.6	28.4
6	スマホ等の利用は、学校・家庭内のルールを守るようにしている。	96.8	95.2	96.8	63.0	62.4	66.0
7	他人や社会に貢献・奉仕する意義を感じている。	88.2	84.8	85.1	67.8	67.4	67.4
8	生徒:学級や生徒会の仕事は最後まで責任をもってしている。 保護者:学校、地域の仕事、家庭の手伝い等は最後まできちんとしている。	96.4	93.8	94.2	68.1	64.7	76.2
9	清掃には毎日一生懸命取り組み、環境美化に努めている。	97.0	95.4	95.5	61.7	50.0	51.1
10	生徒:Classiの活用など、学習時間の確保、学習の習慣化に努めている。 保護者:毎日、家での学習時間確保、学習の習慣化に努めている。	51.8	47.3	40.5	35.3	38.7	41.7
11	必要な予習・復習・課題・考査の復習等は確実に終わらせている。	62.4	66.7	62.0	51.6	55.2	64.0
12	学力向上に向けて、授業の聞き方、ノート作成の工夫、学習法の改善、計画等を実践している。	77.0	77.1	72.3	50.0	52.9	60.4
13	進路について調べたり、深く考えたりする授業やLHRを受けた。	88.0	86.0	84.7	68.1	66.9	73.0
14	生徒:保護者は進路や学習等について積極的に相談に乗ってくれる。 保護者:家庭でも進路選択や学習等について積極的に相談に乗っている。	96.2	91.4	89.0	78.8	78.9	82.9
15	自分の目標とする進路は、具体的かつ明確である。	78.4	68.6	68.1	64.5	62.2	63.0
16	学校で人とのコミュニケーションで悩むことがあまりない。	83.4	75.4	77.4	79.4	77.2	82.4
17	相手の立場や考え方を意識して、適切な言葉遣い等に努めている。	97.2	98.1	97.0	88.6	91.2	92.4
18	会話等で他人の話には静かに耳を傾け、理解しようと努めている。	98.2	97.5	97.7	90.0	91.2	91.1
19	生徒:話し方や言葉遣いに関する授業やLHRを受けたことがある。 保護者:家庭でよりよい話し方や言葉遣いについて話題にすることがある。	65.2	58.6	56.6	73.7	83.8	82.0
20	通学時には地域や駅の方々に挨拶等をしっかりしている。	84.6	78.2	80.2	82.1	89.7	90.4
21	生徒:配布される保護者宛での通信等は必ず渡している。 保護者:日々の学習や学校生活、学校行事、進路設計等について学校からの情報提供は適切である。	88.6	88.6	89.6	80.4	79.3	81.5
22	先生が生き方や進路について親身に相談に乗ってくれ、元気に学校生活を送る手助けとなっている。	94.6	88.6	86.0	89.1	82.0	87.7
23	先生の助言・指導などは、家庭でも話題にしている。	79.2	74.4	71.1	77.7	76.4	78.6
24	先生から、よく声をかけてもらっている。	89.2	78.0	77.9	83.0	75.0	80.3
25	先生はいろいろな意味で頼れる存在である。	92.6	89.8	86.2	85.8	85.9	90.1

【今回の傾向について】

今年度のアンケート調査では、生徒20項目、保護者15項目において、前年度を上回る結果が示された。特に22～25から、日頃の職員の接し方や教育相談体制について、生徒・保護者から理解が得られていることがうかがえる。一方、10の学習に関する項目では、3年間で比較すると生徒の評価は年ごとに高くなっているが、保護者の評価は逆に低くなっており、生徒と保護者の認識の違いが大きくなっている。このことから、自宅学習が定着していると言い難い状況にあることがうかがえる。ただ、生徒の中には朝活や放課後等の時間を有効に活用したり、学習支援アプリを活用することで、自宅での学習時間を短縮している生徒もいると考えられる。また、6のスマホ等の利用についても、生徒と保護者の認識の違いが大きい。家庭で話し合いをしていたくように、学校としてもはたらきかけていきたい。